

とば すいぞくかん むかしばなし 鳥羽水族館で昔話

にん ぎょ ひめ 人魚姫

ふか うみ そこ にん ぎょ きゅうでん
深い海の底に人魚たちがすむ宮殿がありました。
おうさま 6 にん ひめ 15 さい うえ
王様には6人の姫があり、姫たちは15歳になると海の上に
うかび 出ることを許されました。

こころ すえ むすめ
心やさしい末娘がようやく海の上に浮かび出たとき、
ふね の にん げん おう じ ひと め み す
船に乗っていた人間の王子を一目見て好きになりました。
そして、あらし 船が しず しまった とき ひっし
そして、嵐で船が沈んでしまった時、必死になって王子を助けました。
しかし、き うしな
しかし、気を失っていた王子はそれに気づきませんでした。

ま じょ ちから うつく こえ
姫は魔法の力をかりて、美しい声とひきかえに人間の
すがた
姿になることができました。
しろう じ じょ
王子の城に出かけていって侍女になりました。
かのじょ いのち おんじん し
ところが、王子は彼女が命の恩人であることを知らないまま、
となり くに おう じょ けつ こん
隣の国の王女と結婚してしまいました。

あい え ちど
王子の愛を得られなかった姫は、人魚にも戻ることができず、
ついに海に身を投げ、そのたましい そら
ついに海に身を投げ、その魂は空にのぼっていきました。

